



TAKUDAI
TAKUSHOKU UNIVERSITY

図書館報

発行
2025.10
Vol.126

特集

紙の本 vs. 電子書籍 - 図書館後援会コラボ企画第2弾 -

変わる読書のかたち ～紙と電子のはざまで～

かつて「本を読む」といえば、手に取ってページをめくる紙の本が当たり前でした。子どもの頃に読んでもらった絵本や文庫本の手触り、新しい本のにおいに、読書の喜びを感じた方もいるのではないのでしょうか。

それが今では、スマートフォンやタブレットで本を読む人も増え、電子書籍が日常の選択肢としてすっかり定着しています。時代とともに、本のかたちは変化してきました。

私たちは今、「読書は紙の本であるべきか、それとも電子書籍でもよいのか」という選択の時代を生きています。しかし、大切なのは「どちらが正しいか」を決めることではなく、それぞれの良さや特性を理解し、自分に合った読書スタイルを見つけることだと思います。

たとえば紙の本は、目に優しく、手を動かして書き込んだり付箋を貼ったりと、五感を使った読書ができます。記憶にも残りやすく、読み終わった後の達成感や本棚に並ぶ背表紙の景色も魅力の一つです。（※もちろん図書館で借りた本への書き込みなどはご遠慮ください！）

一方で電子書籍は、何冊でも持ち歩いて、読みたいときにすぐ購入でき、文字サイズの調整や検索機能も充実しています。暗い場所でも読めるなど、生活スタイルに合わせた柔軟な読書が可能です。

こうした読書スタイルの多様化が進む今、改めて考えたいのが「何のために本を読むのか？」ということです。学業のため、様々な知識を得るため、物語に心を動かされるため、そして他者の考えや価値観に触れるためなど、読書の手段がどれほど進化してもその本質は変わらないのではないかと思います。

今回の図書館報では、紙と電子、それぞれの魅力や違いについて特集します。

2・3面にて、実際に図書館後援会の学生たちが自らの読書体験をもとに、「それぞれの利便性」などをVS形式で語ってくれました。読書のかたちが広がる今だからこそ、現代の学生のリアルな声に、ぜひ耳を傾けてみてください。





紙の本 VS 電子書籍



図書館後援会
コラボ企画
第 2 弾

お気に入りの一冊を集中して読むのに最適！

電子書籍のように、たくさんの本を持ち歩くのは難しいですが、集中して読みたい1冊が決まっているなら紙の本はとてもおすすめです。文庫本や新書はコンパクトなのでカバンに入れてもかさばらず、持ち運びもしやすいです。

ROUND 1

利便性と携帯性
持ち運びの
しやすさの違いなど

通学時間も有効活用！とにかく手軽！

電子書籍はスマホやタブレットがあればいつでも読めるのが強みです。通学途中の電車の中や、少し空いた時間に、電子端末にログインすれば簡単に読むことができます。気分で本を選びたい人におすすめです。

書店に行くのが楽しみ！

紙の本を買うには、書店に行くか、ネットで注文して届くのを待つ必要があります。少し手間に感じる方がいるかもしれませんが、実際に書店へ行って本を選ぶことはわくわくする体験です。思いがけず面白そうな本に出会えることもあります。時間があるときにはぜひ書店へ足を運んでみてください。

ROUND 2

コストと
購入のしやすさ

忙しくても読みたい本がすぐに手に入る！

電子書籍はネットで買ってすぐに読むことができ便利です。紙の本より少し安く販売されていることもあります。時間がないときや、すぐに読みたい！と思ったときにとても助かります。



自分だけの本棚をつくれる！

読み終わった本を本棚に並べてお気に入りの本に囲まれることも魅力のひとつ！ちょっとした達成感も味わえます。読み終わったあとは、家族や友人に貸したり、譲ったりできるのも、紙の本のいいところ。本棚がいっぱいになったら売ることでもでき、その本がまた誰かの手に渡って行くのも素敵だと思いませんか？

ROUND 3

保存性と所有感
～本棚に並べる？
データに残す？～

データでスッキリ！管理もラク！

読み終わったあとは電子データとして保存されるので、本棚も場所もいりません。劣化の心配もないため手間もなし。読みたい本をすぐに読んで、すぐに保存しておきたい人にはぴったりです。

ページをめくるあの感じが良い！

集中して長時間読む場合には紙の本が使いやすいと感じる人が多いようです。また紙の質感が好きな方、ページをめくるワクワク感があります！本によっては表紙やページごとの質感、レイアウト、配色にこだわっている本もあり、そうした部分もダイレクトに楽しめるのも魅力です！中には読む順番でストーリーが変わるという工夫に富んだ本も。紙の本でしか味わえない読書体験がそこにあります。

ROUND 4

読書体験と没入感

新たな読書スタイル！

スキマ時間を有効活用したい、手軽に本を読みたいというときに便利なのが電子書籍。手軽に読める分、読書のハードルも下がったのではないかと思います。ただ、長時間読み続けると目が疲れやすいと感じる人もいるかもしれません。それでも、手軽さからカフェでいろいろな本を読みたいときに活用している学生もいました。最近は電子書籍の方も増えている気がします。



紙の本、電子書籍にはそれぞれの良さがあります。ライフスタイルや場面に合わせて使い分けることで、日々の読書がもっと楽しく、有意義なものになるはずです。紙の本とじっくり向き合うのが好きな方にとっても、手軽な電子書

籍を活用したい方にとっても、読書がより身近なものとなればうれしいです。この度の企画が少しでも皆さんの読書をする際の手助けとなり、また新たな視点をもつきっかけとなれば幸いです。
(図書館後援会一同)



図書館からのお知らせ

新しいサービスを 開始しています

図書館では、5月からEZproxy（イージープロキシ）を利用した学外アクセスサービスの提供を開始しました。大学から配付された個人IDでログインすることで、学生・教職員の皆さんが多くのデータベースを自宅など大学の外でも利用できます。図書館ホームページ内の『自宅から使えるデータベース一覧』より利用できますので、ぜひ研究・学修にお役立てください。



図書館ガイダンスで、 学びをもっと深めよう！

図書館では、さまざまなテーマに沿った「図書館活用ガイダンス」を実施しています。



参加者には
素敵なグッズを
プレゼント！



卒論等作成のための
特別貸出を行います



図書館スタッフコラム

4



図書館報 126号、いかがでしたか？

実は私、昨年11月に他部署から図書課へ異動してきて、もう少しで1年になります。異動前は「図書館＝静かに勉強する場所」だと思っていたのですが、いい意味で裏切られました。

文京図書館では静かで落ち着いたB2フロアと、話しながら学べるB1フロア。

八王子図書館では、1階が話しながら学べるフロアで、2階が静かに利用するフロアとなっています。

どちらも冷暖房完備で過ごしやすく、もっと学生みなさんに図書館の良さを知ってもらい、利用してほしいと思う毎日です。

毎月変わる展示スペースには、さまざまな思いが込められていて、本当に面白いんです。私にとっての毎月の楽しみでもあります。

図書館は静かに見えて、実はとてもアクティブな場所。

ちょっとした合間の時間にでも、ぜひふらっと立ち寄ってみてください。

拓殖大学 図書館報 第126号 編集・発行 拓殖大学図書館

図書館

〒112-8585 文京区小日向 3-4-14
TEL 03 (3947) 7229

八王子図書館

〒193-0985 八王子市館町 815-1
TEL 042 (665) 1483



拓殖大学図書館 検索

